

福島公論

発行日 十五日 三十日
 一部 金 五 銭
 発行兼編輯 安川源市
 印刷 平南町白銀町一

酒は 未廣に限る
 平南町 電四二一

本紙銘一年有餘を迎へて

安川源市

昭和五年七月福島公論と銘打ちて獨り郷土のみならず廣く縣下のため微力乍ら淺學非才を以て嚴正公平なる立場に立脚なし筆端火を吐く文陳に意義大く貢獻せんと欲せども中途經濟的に惱まされ勞力と文獻を以て起てる吾人は生活苦にあいぎ幾多の困苦と闘へ續けて來たれども天無情にも我に今だ光明を與へず人生、生れて五十年をか春風秋風生を享けて廿七年噫々自己の伸び行かぬ立場を思ふさわれ吾人に惠まれたる天職とは唯新聞事業であるのみ中途に於てたとへ中斷さるの憂目を見ても吾人の強き信念の旗印の元に立脚なして揮身の力迅風に帆をはらませ目的の彼岸にたざらん、例へ如何なるサタン(悪魔)に遭遇せよと吾人の底に秘める強き正義心は固く今日迄種々なる固窮を打開して福島公論と銘打つてより一年有餘晩秋と俱に去らんとする昭和六年、後一月にて新春を迎へる時に當り倦土重來驚馬に鞭打ちて意氣天を衝くの概を以つて甦生をたざらんとす。冀くは今一度本紙が甦生のため郷土諸士の熱烈なる御後援あらん事を希ふ

御詫び

俗事雜務に追われ随つて發行も遅引致しました本紙も來春壁頭よりパンフレットに變更なし讀者諸者の皆様旁に満足と與へ様と努めます何卒本紙の不体戴を御詫します之點諒とせられ今後何分の賛援被下様願申ます

良品廉賣に勝る商略なし

磐城セメント特約代理店

和洋銅鐵
金物問屋

久 釜屋商店

磐城平町五丁目
電話九番九九番
振替貯金口座一〇九五六番

福島縣平町白銀町壹番地

河田鐵工所

河田梅吉

セメント、鑛山用
諸機械、エレベータ
コンベヤー各種
製作 販賣
工事設計請負

外科、小兒科 平町、電話五二三番
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
院長 醫學士 高久忠

平町紺屋町

吉田眼科醫院

吉田安雄

小間物化粧品
卸 小 賣

大黒屋勝次商店

平町三丁目
電話一一六番

縣會議員

萩原義雄

平町銀冶町

縣會議員

石川德壽

湯本町

看護婦派出は何時でも迅速

御需に應じます

平看護婦會

會長 清野キヨ

電話三〇七番

山は富士御茶は

本場小笠銘茶に限る

卸小賣元 大角園

大角金藏

平町搔樋小路

關内正一

家具類 一手販賣
漆器

丸ほん家具店

平町三丁目